

系統別疾患と歯科治療（全身疾患患者の歯科治療）

4 年次 後学期	授業科目責任者：葛西 一貴（歯科矯正学） ユニット責任者：近藤 壽郎（顎顔面外科学）
----------	---

学習の目標 (GIO)	医学・医療は発達し、社会の疾病構造は急性疾患から糖尿病、高血圧、膠原病、ガン、心筋梗塞、脳梗塞、動脈硬化症などライフスタイルに絡んだ慢性疾患に移行している。そして社会の高齢化に伴い、全身疾患患者は増加の一途を辿っている。先天的な疾患や発達障害を含め、このような患者さんに発生した歯科疾患を治療するためには、全人的医療が提供されなければならない。「全身疾患患者の歯科治療」では、全身疾患がある患者さんに対して適切な歯科医療を提供するために必要な基本的概念を解説する。
授業担当者	内科学：坂巻達夫 障害者歯科学：野本たかと 顎顔面外科学：近藤壽郎、神野良一、武川寛樹 歯科臨床検査医学：福本雅彦 口腔外科学：秋元芳明、西村 均、田中茂男 歯科麻酔学：渋谷 鑣 顎顔面矯正学：大峰浩隆、 顎口腔機能治療学：小見山道 有床義歯補綴学：成田紀之、飯島守雄 客員教授：和氣裕之 看護科：神 尚子
教科書	有病者歯科ポケットブック、全身疾患 vs 歯科治療・デンタルダイヤモンド社
参考図書	チャート式こんな患者が来院したら・・・歯科治療と全身疾患・デンタルダイヤモンド社、オーラルメディスン 口腔内科学・永末書店、有病者・高齢者歯科治療マニュアル・医歯薬出版、有病高齢者歯科治療のガイドライン・クインテッセンス、妊婦・授乳婦の歯科治療と薬物療法・砂書房、ベルの口腔顔面痛 第5版・クインテッセンス出版、Bell's Orofacial Pain 6ed・Quintessence、歯科医のための心身医学・精神医学・日本歯科評論社、顎関節症診断・治療マニュアル・永末書店、口腔顔面痛 基礎から臨床へ・クインテッセンス、障害者歯科ガイドブック・医歯薬出版、障害者歯科の手びき・相川書房、障害者福祉の世界、有斐閣アルマ、口腔・中咽頭がんのリハビリテーション・医歯薬出版、Prosthetic Rehabilitation・Quintessence、食べる機能の障害 その考え方とリハビリテーション・医歯薬出版、よくわかる摂食・嚥下のしくみ・医歯薬出版、摂食・嚥下リハビリテーション・医歯薬出版、歯科医師のための皮膚科学<第2版>・医歯薬出版、サイコ・デンティストリー、歯科医のための心身医学・精神医学・砂書房
実習器材	なし
評価方法 (EV)	平常試験（50%）と期末試験（50%）によって評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	全身疾患を有する患者の歯科治療上の注意点を知らずして、将来、歯科医療に従事する者にとって不可欠な内容です。臨床実習の前に本科目の基本的事項を身につけることができれば、歯科臨床における知的なマネージメントを理解できるはずですが、 なお、本講義を受講するにあたり、常識ある授業態度を義務づける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月27日(木) 1時間 11:00～11:50	全身疾患患者の歯科治療 導入(2) 医療の立場から	【準備学習項目】 1) 全人的医療を説明できる。 2) 生活習慣病を説明できる。 【講義】 1) 全人的医療の概略を説明できる。 2) 疾病構造の変化を説明できる。 3) 生活習慣病の概念を説明できる。 4) 加齢と疾患について説明できる。 </総-()-1-F,G,各-()6-A,C,D>	坂巻達夫
10月3日(水) 1時間 11:00～11:50	全身疾患患者の歯科治療 導入(1) 歯科医療の立場から	【準備学習項目】 疾患に基づく症状や病態の定義を説明できる。 【講義】 1) 全身疾患と口腔の関係を説明できる。 2) オーラルメディスンの概念を説明できる。 F-1-(1)-2, F-1-(1)-16)～17), 必-7-C, 必-8-A 及び C, 総-(III)-3-A	近藤壽郎
10月10日(水) 1時間 11:00～11:50	妊婦の歯科治療上の注意点	【準備学習項目】 妊婦に対する歯科治療時の注意点を説明できる。 【講義】 1) 歯科治療時の注意点を述べられる。 2) 胎児、母体へのエックス線の影響を述べられる。 3) エックス線撮影の注意点を述べられる。 4) 薬物の胎児への影響を述べられる。 F-1-4), D-5-1)	秋元芳明

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月11日(木) 1時間 11:00～11:50	高齢者の歯科治療上の注意点	【準備学習項目】 日本における疾患構造の変化について説明できる。 【講義】 1) 加齢に伴い発症頻度が高くなる疾患を説明できる。 2) 要介護の原因疾患を説明できる。 3) 要介護高齢者の口腔疾患の特徴を説明できる。 4) 脳血管障害患者の歯科治療における注意点を説明できる。 5) 心疾患患者の歯科治療における注意点を説明できる。 6) 認知症患者の歯科治療における注意点を説明できる。 F-2-(6)-2)-3) および 6), 必-2-C, 必-14-F-a～d, 必-14-Z-a～b, 各-I-(IV)-2～4	野本たかと
10月17日(水) 1時間 11:00～11:50	感染症患者の歯科治療	【準備学習項目】 1) HIV, HBV, HCV について述べられる。 2) MRSA, インフルエンザなどの感染症を述べられる。 【講義】 1) 歯科でみられる微生物感染症の種類を述べられる。 2) 感染症の感染機序を述べられる。 F-2-4)-(7), D-3-1)	西村均
10月18日(木) 1時間 11:00～11:50	皮膚科疾患患者の歯科治療	【準備学習項目】 1) 皮膚及び粘膜の構造について説明できる。 2) 皮膚及び粘膜の働きについて説明できる。 【講義】 1) 皮膚科疾患について概説できる。 2) 皮膚科疾患患者の口腔内における特徴を説明できる。 3) 皮膚科疾患患者の歯科治療時の注意点を説明できる。 マルチメディア、スライド、プリント F-2-4)-(7)-、各-()-2-C	大峰浩隆
10月24日(水) 1時間 11:00～11:50	発音障害とリハビリテーション	【準備学習項目】 口腔、鼻腔、咽頭、および喉頭の解剖学的特徴を説明できる。 【講義】 1) 発音の生理的メカニズムを説明できる。 2) 構音障害を説明できる。 3) 発音障害の原因を挙げられる。 4) 発音のリハビリテーション法を説明できる。 F-2-(3)-6), F-2-(5)-8)-3), 必-14-Y, 総-I-12-A～B, 総-II-(IV)-17-E～F, 総-II-(V)-10-D, 各-III-(IV)-2-A	野本たかと
10月25日(木) 1時間 11:00～11:50	顎顔面欠損患者の歯科治療	【準備学習項目】 1) 顎顔面欠損の成因を説明できる。 【講義】 1) 顎顔面に欠損を有する患者の背景を説明できる。 2) 顎顔面に欠損を有する患者の機能障害を説明できる。 3) 顎顔面に欠損を有する患者の補綴方法を説明できる。 F-2-4)-(8)-、F-3-4)-(3)-～ 総-I-1-H～N, 総-I-7-B 各-I-A～E, 各-I-8,9	飯島守雄
10月31日(水) 1時間 11:00～11:50	慢性疼痛患者の歯科治療	【準備学習項目】 口腔周辺に慢性疼痛を有する疾患について説明できる。 【講義】 1) 口腔周辺に発生する疼痛性疾患について列記できる。 2) 口腔周辺に発生する疼痛性疾患の治療について説明できる。 3) 非歯原性歯痛を起こしうる疼痛性疾患について列記できる。 4) 非定型歯痛について説明できる。 5) 慢性疼痛患者の歯科治療における注意点を列記できる。 F-2-4)-7, IX-1-A	小見山道
11月1日(木) 1時間 11:00～11:50	慢性疼痛患者の歯科治療	【準備学習項目】 口腔周辺に慢性疼痛を有する疾患について説明できる。 【講義】 1) 口腔周辺に発生する疼痛性疾患について列記できる。 2) 口腔周辺に発生する疼痛性疾患の治療について説明できる。 3) 非歯原性歯痛を起こしうる疼痛性疾患について列記できる。 4) 非定型歯痛について説明できる。 5) 慢性疼痛患者の歯科治療における注意点を列記できる。 F-2-4)-7, IX-1-A	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月7日(水) 1時間 11:00～11:50	口腔顔面の難治性神経疾患(神経障害性疼痛)と歯科治療(1)	【準備学習項目】 1) 口腔顔面の神経障害性疼痛については説明できる。 2) 口腔顔面の痛みの末梢感作については説明できる。 3) 口腔顔面の痛みの中枢感作については説明できる。 【講義】 1) 口腔顔面の痛みの知覚・認知プロセスを説明できる。 2) 口腔顔面の痛みの発症と末梢感作にかかわる神経病理を説明できる。 3) 口腔顔面の痛みの中枢感作にかかわる神経病理を説明できる。 4) 口腔顔面の痛みの知覚・認知プロセスの障害を説明できる。 5) 口腔顔面の神経障害性疼痛の診断と治療を説明できる。 D-4-6)- , F-4-5)- , 各(V)-1-E-4-a, (V)-2-G, ()-1-A-c, ()-1-C-a	成田紀之
11月8日(木) 1時間 11:00～11:50	口腔顔面の難治性神経疾患(口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア))と歯科治療(2)	【準備学習項目】 1) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)については説明できる。 2) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)における感覚障害、精神心理ならび認知機能については説明できる。 【講義】 1) 顎口腔系の感覚運動機能にかかわる中枢制御を説明できる。 2) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)の発症要因を説明できる。 3) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)における運動機能の障害メカニズムを説明できる。 4) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)における感覚異常(oral dysesthesia)のメカニズムを説明できる。 5) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)における精神神経機能ならびに認知機能とのかわりを説明できる。 6) 口下顎不随意運動症(オーラルジスキネジア)の診断と治療を説明できる。 各(V)-2-F, ()-1-C-a	同上
11月14日(水) 1時間 11:00～11:50	呼吸器系疾患患者の歯科治療	【準備学習項目】 呼吸器系疾患患者の基礎的事項について説明できる。 【講義】 1) 呼吸機能検査法と検査値について説明できる。 2) 換気障害の分類が説明できる。 3) ガス交換について説明できる。 4) 歯科治療に問題となる呼吸器疾患について述べられる。 F-1-3)-(1) / 総-()-1-C, 総-()-3-A-a,b	渋谷鏡
11月15日(木) 1時間 11:00～11:50	呼吸器系疾患患者の歯科治療	【準備学習項目】 呼吸器系疾患患者の基礎的事項について説明できる。 【講義】 1) 呼吸機能検査法と検査値について説明できる。 2) 換気障害の分類が説明できる。 3) ガス交換について説明できる。 4) 歯科治療に問題となる呼吸器疾患について述べられる。 F-1-3)-(1) / 総-()-1-C, 総-()-3-A-a,b	同上
11月21日(水) 1時間 11:00～11:50	がん患者の歯科治療	【準備学習項目】 放射線障害と抗がん薬投与の問題点を説明できる。 【講義】 1) 放射線障害の種類を述べられる。 2) 放射線障害への対応を述べられる。 3) 抗がん薬投与の問題点を述べられる。 4) エピテーゼとプロテーゼについて説明できる。 F-1-4), F-2-4)-(3)	秋元芳明
11月22日(木) 1時間 11:00～11:50	平常試験	9月27日から11月21日までの講義分の試験	
11月28日(水) 1時間 11:00～11:50	血液造血系疾患患者の歯科治療(1)	【準備学習項目】 各種白血球の働きを説明できる。 【講義】 1) 悪性リンパ腫の臨床的病態を述べることができる。 2) 多発性骨髄腫の臨床的病態を述べることができる。 3) 多発性骨髄腫の特徴的な臨床検査データを列挙できる。 マルチメディアを使用 F-2-4)-(7) 総-VII-1-E	福本雅彦

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月29日(木) 1時間 11:00～11:50	血液造血系疾患患者の歯科治療(2)	【準備学習項目】 各種白血球の働きを説明できる。 【講義】 1) 無顆粒球症の臨床的病態を述べるができる。 2) 無顆粒球症の特徴的な臨床検査データを列挙できる。 3) GVHDの臨床的病態を述べるができる。 4) GVHDの原因・対策を述べるができる。 マルチメディアを使用 F-2-4)-(7) 総-VII-1-E 総-VI-6-H	同上
12月5日(水) 1時間 11:00～11:50	口腔疾患患者の栄養・食事指導	【準備学習項目】 経管栄養法および栄養指導の基本を説明できる。 【講義】 1) 栄養補給法を述べられる。 2) 食事の種類を述べられる。 3) 食形態を述べられる。 4) 特別食とは何かを述べられる。 5) 特別食の基本を説明できる。 6) 食事指導の基本を述べられる。 7) 栄養指導の基本を述べられる。 F-1-4), F-2-4)	秋元芳明 神尚子
12月6日(木) 1時間 11:00～11:50	全身疾患患者の口腔症状(1)	【準備学習項目】 全身疾患患者の口腔症状について説明できる。 【講義】 1) 口腔構造に症状を現す系統(全身)疾患を理解する。 2) 口腔粘膜に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 3) 硬組織に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 F-2-(5)-7) IV-(V)-1	近藤壽郎
12月12日(水) 1時間 11:00～11:50	全身疾患患者の口腔症状(2)	【準備学習項目】 全身疾患患者の口腔症状について説明できる。 【講義】 1) 口腔構造に症状を現す系統(全身)疾患を理解する。 2) 口腔粘膜に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 3) 硬組織に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 F-2-(5)-7) IV-(V)-1	同上
12月13日(木) 1時間 11:00～11:50	全身疾患患者の口腔症状(3)	【準備学習項目】 全身疾患患者の口腔症状について説明できる。 【講義】 1) 口腔構造に症状を現す系統(全身)疾患を理解する。 2) 口腔粘膜に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 3) 硬組織に病変を形成する系統(全身)疾患を知る。 F-2-(5)-7) IV-(V)-1	同上
12月19日(水) 1時間 11:00～11:50	肝・消化器系疾患患者の歯科治療(1)	【準備学習項目】 慢性肝炎および肝硬変の病態を説明できる。 【講義】 慢性肝炎の病態生理を説明できる。 肝硬変と肝がんの病態生理を説明できる。 -()-2-C D-2-3)-(8)	秋元芳明 田中茂男
12月20日(木) 1時間 11:00～11:50	肝・消化器系疾患患者の歯科治療(2)	【準備学習項目】 胃・十二指腸潰瘍の病態を説明できる。 【講義】 1) 慢性肝炎患者の歯科的管理を説明できる。 2) 肝硬変と肝がん患者の歯科的管理を説明できる。 3) 胃潰瘍・十二指腸潰瘍の病態生理を説明できる。 4) 胃潰瘍・十二指腸潰瘍の歯科的管理を説明できる。 -()-2-D D-2-3)-(6) -()-2-C D-2-3)-(8)	同上
1月9日(水) 1時間 11:00～11:50	代謝性疾患患者の歯科治療(1)	【準備学習項目】 1) 糖尿病について説明できる。 2) 肥満について説明できる。 3) 脂質代謝異常について説明できる。 【講義】 1) 糖尿病の病態生理と臨床症状を説明できる。 2) 糖尿病患者の内科的治療を理解する。 3) 糖尿病患者の歯科的管理を説明できる。 4) 肥満の病態生理を説明できる。 5) 脂質代謝異常の病態生理を説明できる。 6) 脂質代謝異常を持った患者の歯科的管理を説明できる。 D-2-(3) IV-(V)-2-C	神野良一

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月10日(木) 1時間 11:00～11:50	代謝性疾患患者の歯科治療(2)	【準備学習項目】 1)下垂体機能障害について説明できる 2)甲状腺機能異常について説明できる 3)副甲状腺機能異常について説明できる 【講義】 1)下垂体機能障害の病態生理を説明できる。 2)下垂体機能障害患者の歯科的管理を説明できる。 -()-2-D D-2-3)-(6) 3)甲状腺機能異常の病態整理を説明できる。 4)甲状腺機能異常の歯科的管理を説明できる。 5)副甲状腺機能異常の病態整理を説明できる。 6)副甲状腺機能異常の歯科的管理を説明できる。 7)副腎機能異常の病態整理を説明できる。 8)副腎機能異常の歯科的管理を説明できる。 D-2-3)-(8)- - -4-E-b - -4-E-c - -4-E-d	同上
1月16日(水) 1時間 11:00～11:50	免疫系・アレルギー疾患患者の歯科治療(1)	【準備学習項目】 アレルギーについて説明できる。 【講義】 1)アレルギーの分類を説明できる。 D-3-2)-(5)/I-(I)-13-C 2)歯科治療における金属アレルギーの発症機序を説明できる。 D-3-2)-(6)/I-(I)-13-C, I-(IV)-1-H-3	武川寛樹
1月17日(木) 1時間 11:00～11:50	免疫系・アレルギー疾患患者の歯科治療(2)	【準備学習項目】 慢性関節リウマチ、ベーチェット病、シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデスについて説明できる。 【講義】 1)自己免疫疾患の分類を説明できる。 2)以下の自己免疫疾患の病態と歯科治療における注意点を説明できる。 慢性関節リウマチ、ベーチェット病 D-3-2)-(6)/I-(I)-13-C, I-(IV)-1-I 3)以下の自己免疫疾患の病態と歯科治療における注意点を説明できる。 シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス D-3-2)-(6)/I-(I)-13-C, I-(IV)-1-I	同上
1月23日(水) 1時間 11:00～11:50	心身医学と歯科治療(1)	【準備学習項目】 心と体は密接に関連していることを理解し、心因性疾患の基本を説明出来る。 【講義】 1)心身相関を説明出来る(SOAPシステム・ストレスと心身症)。 2)歯科心身症(舌痛症、顎関節症、口臭恐怖症、歯科治療恐怖症)を説明出来る。 3)口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性の痛みを説明出来る。 F-4-5- , F-4-5- , F-2-4-(4)- ()	和氣裕之
1月24日(木) 1時間 11:00～11:50	心身医学と歯科治療(2)	【準備学習項目】 心と体は密接に関連していることを理解し、心因性疾患の基本を説明出来る。 【講義】 1)心身医学・精神医学的な対応を要する患者の分類を説明出来る。 2)心理テストを説明できる。 3)心身医学的な診療を説明出来る。 F-4-5- , F-4-5- , F-2-4-(4)- ()	同上